

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 **新**県商店街振興組合連合会補助金（商店街活性化事業）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 商業・金融課 商業振興係 電話番号：058-272-111（内3067）

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 106,754千円（現計予算額：0千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	106,754	0	0	0	0	0	0	0	106,754
決 定 額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために生じた外出自粛、各種イベント中止の影響により、商店街への人流は著しく低下し、現在においてもコロナ以前のにぎわいが回復していない状況が続いている。
- ・今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、にぎわいの回復を図る必要がある。
- ・県商店街振興組合連合会は、県内の商店街振興組合（53組合）を束ねる唯一の組織であり、県内商店街の活性化に向け、各種指導・育成、相談、情報提供などの各種事業を積極的に展開している。
- ・今後は、地域の商店街と連携して、新型コロナウイルス感染症の影響で低下した人流の回復、消費喚起など商店街の活性化を図る必要がある。

(2) 事業内容

県商店街振興組合連合会が実施する商店街活性化事業（クラウドファンディングを活用した商店街支援事業）の実施に対して支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域商店街の活性化により、まちづくり等へつながる経費であり、公益性が高く定額を補助することが適当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	106,754	県商店街振興組合連合会補助金（商店街活性化事業）
合計	106,754	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

③地場産業の活力の強化

(2) 国・他県の状況

国：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）

(3) 後年度の財政負担

単年度事業として措置予定

(4) 事業主体及びその妥当性

県内全域を統括する組織は県商店街振興組合連合会だけであり、県内均一に指導・事業実施できる唯一の組織である。

県単独補助金事業評価調査書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県商店街振興組合連合会補助金（商店街活性化事業）
補助事業者（団体）	県商店街振興組合連合会（県商連） （理由） 県商店街振興組合連合会は県内均一に指導・事業実施できる唯一の組織であり、地域商店街の振興のために商店街の人材育成等公益性の高い事業を行っているため。
補助事業の概要	（目的）商店街の活性化（にぎわい回復、需要喚起） （内容）クラウドファンディングを活用した商店街支援事業
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）事業費10/10 （理由） 地域商店街のまちづくり等につながる経費であり、公益性が高く、事業費10/10を補助することが適当であるため。
補助効果	・商店街のにぎわい回復及び需要喚起 ・商店街の組織力強化等、商店街の活性化
終期の設定	終期 令和3年度 （理由）新型コロナウイルス感染症に対する経済支援

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生前のにぎわい回復及び需要喚起を図り、商店街の活性化を図る。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H*年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①			
②			

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 106,754 千円
指標①目標					

指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
商店街のにぎわい回復等が一過性に終わることなく、商店街の組織力強化、人材育成等、商店街が維持・発展に必要な取組みを継続的に実施できるよう、県商連の継続的な事業の充実が必要である。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で減少した商店街のにぎわい回復、需要喚起を図るため、商店街活性化の取組みを支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
